

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

発行機関：東京都島しょ農林水産総合センター
千葉県水産総合研究センター
神奈川県水産技術センター
静岡県水産技術研究所
三重県水産研究所
和歌山県水産試験場

資料：船舶水温、衛星水温、気象庁解析水温

海況

1. 周辺海域の水温

右に10月11日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は先週から引き続き、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「接岸」となっている。

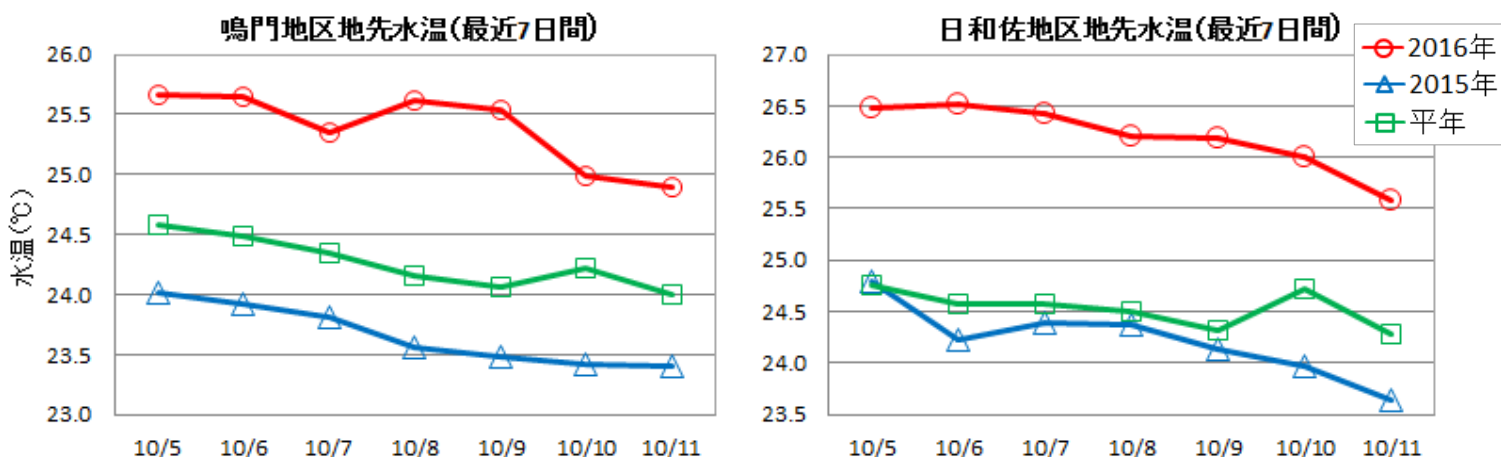
黒潮本流の表面水温はおおむね28℃台である。

徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道で25℃台～26℃台、海部沿岸で26℃台となっている。

海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の24.9℃～25.7℃、日和佐地区は「高め」のうち「やや高め」の25.6℃～26.5℃で推移した。牟岐地区は前半「やや高め」～「高め」の25.8℃～26.6℃で推移したが、後半急激に下がり11日には平年並みの24℃となった。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上
※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平均値
牟岐地区：1991年～2015年の平均値

3. 週間予報

10月12日から18日にかけて、黒潮は、室戸岬沖で接岸傾向となり「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で引き続き「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「平年並み」～「やや高め」で、鳴門地区は24℃台、日和佐地区は24℃台～25℃台前半で推移する見込み。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

延縄以外の漁獲量が大きく減ったため、全体の水揚げは大きく減った。
 船びき網では、シラスが大きく減って18.1ト水揚げされた。
 延縄では、サワラが増えて6.9ト、タチウオが大きく減って0.5ト水揚げされた。
 建網では、カワハギが大きく減って大主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、表にはないがマアジ、カンパチが大きく減ってそれぞれ143キと136キ水揚げされた。
 底びき網では、いずれも前週より減って、タチウオが1.0ト、ハモが0.7ト、クマエビが0.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

全体の水揚げは大きく減った。
 釣りでは、表にはないがカンパチが131キ水揚げされた。
 小型定置網では、マアジ、マルアジがともに大きく減って小小主体に0.9トと0.5ト、かます類が前週並みの0.5ト、ムロアジが0.2ト水揚げされた。カンパチは減って127キにとどまった。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	58	シラス	18,125	313		↓↓
	延縄	82	サワラ	6,878	84		↑
		36	タチウオ	506	14		↓↓
	建網	41	カワハギ	328	8	大主体	↓↓
	底びき網	13	タチウオ	1,019	78		↓↓
		15	ハモ	679	45	中主体	↓↓
		15	クマエビ	453	30		↓
		13	ぐち類	361	28		↓↓
	10	いとより類	206	21		→	
海部沿岸	小型定置網	11	マアジ	948	86	小小主体	↓↓
		5	マルアジ	513	103	小小主体	↓↓
		12	かます類	464	39		→
		5	ムロアジ	206	41		→

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%~200%:↗、80%~120%:→、50%~80%:↘、前週比50%未満:↘↘